

のしろ市議会だより

# わたし まち

2019年(平成31年)1月25日 第51号



道の駅ふたついで〜きみまちの里〜

## ◆特集◆

木が活かされている道の駅

特集 .....	2 P
12月定例会の概要 .....	3 P
決算特別委員会審査報告 ほか .....	4 P
審議結果一覧 ほか .....	5 P
一般質問 .....	6 P～9 P
各委員会での主な審査概要 .....	10 P～11 P
各常任委員会行政視察報告 .....	12 P～13 P
主な要望活動 ほか .....	14 P



平成30年12月定例会  
録画中継ページ

◆特集◆ 木が活かされている道の駅



道の駅ふたつい



安井清司駅長

日本海沿岸東北自動車道の延伸に伴う一般国道7号二ツ井今泉道路整備事業により、道の駅ふたついがインターチェンジ等の用地となるため、その土地売り払いや建物の移転補償費等を財源として、新しい「道の駅ふたつい」が昨年7月に移転オープンしました。この道の駅は、木をふんだんに使い、光を大きく取り入れられる窓が特徴で、七座山、きみまち阪、米代川を眺望できる絶好の場所にあります。

今回は、昭和53年に2年連続で能代高校硬式野球部が夏の甲子園に出場したときのシートストップであり、現在は株式会社道の駅ふたついの支配人で駅長の安井清司さんにお話を伺いました。

安井駅長

近年の道の駅ブームもあり、週末だけでなく平日も市内外から多くの利用者が訪れます。多くの木を使用し、天井がアーチ状になっている多目的ホールは、驚きと感動の声をたくさんいただきます。

最初にイベント広場を利用したのは朴瀬小学校の児童さんでした。子供たちが植え付けて育て、収穫した白神ねぎを、教職員やPTAの協力のもと販売しました。開催当日は平日でしたが、子供たちが丹精込めてつくった白神ねぎは見事に完売し、皆さんとても感動していました。

産直コーナーでは、地元の寿司屋の息子さんが手づくりした限定商品の「比内地鶏のだし巻き玉子」など、お客様に喜んでいただけるような商品も出品しております。

今後、日本海沿岸東北自動車道が全線開通となれば、インターチェンジに直結する道の駅として、さらなる利用者の増加が見込まれます。この対応も含め、スタッフのさらなるレベルアップを図るとともに、多目的ホールや屋根付きイベント広場などの施設の活用方法や市外からの利用者への観光セールスを検討していきます。さらに、お客様の声を生かし、日々の改善につなげることに加え、能代の四季折々の魅力を発信していきたいです。

○道の駅ふたつい営業時間  
(24時間営業)

トイレ、授乳室、情報・休憩コーナー、EV充電施設(駐車場内)

(午前9時～午後6時)

総合案内、多目的ホール、展望デッキ、屋根付きイベント広場、産直・物販コーナー、軽食コーナー、歴史・民俗資料コーナー、キッズコーナー(屋内遊具)

(午前11時～午後6時)

レストラン

取材を終えて

道の駅ふたついに隣接し、国土交通省が整備した「河川防災ステーション」は、大規模災害に備えた東北地域の総合防災拠点としての機能を持っています。「川の駅エリア」には、3×3(3人制バスケット)のコートや、ドッグラン、カヌー艇庫を備えており、道の駅ふたついと一体的に魅力をアップさせるハード、ソフト面の整備が進んでいきます。

また、2020年度には日沿道の北秋田市今泉から大館能代空港ICまでの区間が開通する見通しで、残された区間の一刻も早い開通が待たれます。

今後も安井駅長や道の駅スタッフ、農産物を出荷している友の会の皆さんなど、関係する多くの方の力を借りて、能代の元気を発信し、豊かな実りを次世代につなぐ道の駅になるよう期待しております。

取材：落合範良 渡邊正人

## 12月定例会の概要

### 平成30年度一般会計補正予算は賛成多数で可決

12月定例会は、12月4日から12月19日まで16日間の会期で行われました。

提出された議案は、一般会計補正予算など16件のほか、議員発案の意見書案4件と、継続審査となっていた平成29年度一般会計決算及び特別会計決算の認定1件で、審査の結果、全ての議案を可決・認定しました。

また、陳情は5件を採択、2件を不採択、1件を継続審査としました。9月定例会で継続審査とされていた陳情1件は、提出者より取り下げられました。

### 主な単行議案

◆能代市職員の給与に関する条例及び能代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例を一部改正しました

職員の給料月額、勤勉手当の支給割合等を改正します。

◆能代市特別職の職員の給与に関する条例を一部改正しました

◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を一部改正しました

◆能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を一部改正しました

それぞれ期末手当の支給割合を改定します。

◆能代市行政財産使用料徴収条例を一部改正します

旧能代地域と旧二ツ井地域の行政財産に係る使用料額の算出方法を統一します。

◆能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸与条例を一部改正しました

これまでの月額奨学金にかわり、入学一時金を貸与します。

◆能代市立図書館条例を一部改正します

能代市立二ツ井図書館を設置することにも、既存の図書館の名称を、能代市立能代図書館に変更します。



### 一般会計補正予算

補正予算（第6号）は2312万8000円が追加され、予算総額は283億8650万円となりました。

### 補正予算の主な内容・事業

◆普通財産管理費

205万2000円

旧公営企業庁舎等の解体工事に伴いアスベスト事前調査を行います。

◆保育所等事故防止推進事業費

103万5000円

認可保育所及び幼保連携型認定こども園の午睡チェックセンサー等の購入に対し補助します。



◆放課後児童会費

265万1000円

第五小学校内の留守家庭児童会1クラス増設に係る備品を購入します。

◆産地パワーアップ事業費補助金

910万5000円

農業機械のリース導入に対し補助します。



### 特別会計補正予算

- ・簡易水道事業特別会計補正予算
- ・浄化槽整備事業特別会計補正予算
- ・介護保険特別会計補正予算

### 企業会計補正予算

- ・水道事業会計補正予算
- ・下水道事業会計補正予算

継続審査…当該会期中に議決できない議案等を次の定例会まで、または一定の期限まで、閉会中も審査することができるようにすることをいいます。

## 決算特別委員会審査報告

### 29年度一般会計と

#### 特別会計の決算を認定

11月1日に決算特別委員会を開催し、一般会計と10の特別会計の決算を審査しました。一般会計の総額は、歳入総額290億9580万6189円、歳出総額283億1450万2136円で、歳入歳出差引額は7億8130万4053円。全特別会計の総額は、歳入総額160億2122万3422円、歳出総額153億4996万5267円で、各特別会計とも黒字決算または収支同額でした。審査の結果、決算を認定すべきものと決めました。一般会計の主な質疑に対する答弁概要は次のとおりです。

### 歳入

#### 【実質単年度収支】

実質単年度収支が平成28年度に続き29年度も赤字となった理由としては、地方交付税の減額等により、財政調整基金を取り崩して対応したことによる。急激な事業の縮小は市民生活に与える影響が大きいため、当面は基金を取り崩しながら財政運営するが、基金がある程度残っている段階で、収支の均衡を図る必要があると考えています。

#### 【市民税】

所得増等により、個人、法人市民税がともに増加した。国全体の景気回復による余波もあると考えられます。

### 歳出

#### 【敬老会】

能代地域で案内対象を拡大したことにより、出席者数はふえた。ただし、案内対象が拡大されたことを知らなかった方もいたため、今後は周知に力を入れていきたい。

#### 【がん対策強化推進事業】

がん検診無料クーポン券の利用率はまだ低い。対策として、保健センターでの検診に加え、能代厚生医療センター等に検診を委託している。あわせて、日曜がん検診や午後の乳がん検診、コール・リコール事業等も行い、利用率の向上に努めている。

#### 【デュアルシステム事業】

29年度は、実習生徒数が78人、うち29人が実習事業所へ就職しており、一定の効果がでている。ただし、実習先が特定の企業へ偏っているため、本市にある企業とその事業活動を、十分に周知する必要があると考えている。

#### 【農業夢プラン事業及び畑作拡大総合支援事業等】

ネギ、キャベツ等の作付面積は年々増加しており、畑作の拡大につながっている。新規就農者や新たな担い手の育成等により、高齢農家の農地の引き受けも目指しており、青年就農給付金や畑作拡大総合支援事業等、施策を総合的に進めていくことで、畑作物の生産拡大につなげていきたい。

#### 【企業誘致推進事業】

東京の秋田県企業立地事務所と秋田県産業集積課へ職員を派遣するとともに、企業誘致専門員を配置し、関東圏を中心に企業を回り、新たな誘致につながる活動を行っている。また、誘致済み企業についても、情報交換、従業員を対象とした農業体験等によりフォローアップに努めている。20年度以降、新規の誘致企業は実質2件だが、増設等により50人を超える雇用が生まれている。

#### 【住宅リフォーム支援事業】

29年度の利用件数は433件、補助金の合計額は6235万円で、補助対象工事費は約7億7214万円。住宅関連産業を通じて、地域経済に対する一定の効果につながっているものと考えている。今後については、市民や業界団体から継続や拡充を望む声があることから、これまでの利用状況や事業効果の検証等を行いながら検討していきたい。

#### 【特別支援教育支援員設置事業】

29年度は、学校生活や学習面において特別な支援を必要とする児童生徒がいる小・中学校が16校あり、35人の支援員を配置している。近年、支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあるため、支援員の確保が課題である。30年度は40人に増員しており、限られた予算の中で学校事情や保護者の意見等を参考にしながら、効果的な配置に努めている。

## 議長の交際費を公開します 《10月～12月分》

- ・ 第12回戊辰戦争・肥州藩八勇士追悼の集い・ 偲ぶ会 5,000円
- ・ 鶴形小学校思い出を語る会 5,000円
- ・ きみまちニツ井マラソン 歓迎レセプション 5,000円
- ・ 崇徳小学校思い出を語る会 5,000円
- ・ 常盤中学校の思い出を語る会 5,000円
- ・ 能代高等学校軟式野球部後援会高橋会 創立40周年記念パーティー 5,000円
- ・ 能代市男女共同参画都市宣言 8周年事業終了後の懇親会 4,000円
- ・ 平成30年度「関東能代会」の集い 総会・懇親会 8,000円

※詳しくは本庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。  
※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規程」に準じて支出しております。

## 議長の主な動き

10～12月

- ・ 日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期合同盟会等秋期合同要望活動
- ・ 鶴形小学校閉校式典
- ・ 能代山本広域市町村圏組合定例会
- ・ 秋田県後期高齢者医療広域連合議定例会
- ・ 崇徳小学校閉校式典
- ・ 東北市議会議長会理事會
- ・ 常盤中学校閉校式典
- ・ 能代市社会福祉大会
- ・ 全国過疎地域自立促進連盟定期総会
- ・ 日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会・要望活動
- ・ 秋田県北部市議会連絡協議会中央要望活動
- ・ 秋田県市議会議長会臨時會
- ・ 能代山本広域市町村圏組合議定臨時會
- ・ 能代地域活性化協議会総会

### 審議結果一覧

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 -：退席  
 ※議長は可否が同数の場合以外は採決に加わりません。

議案番号等	議案名等	採決結果	改革ネットワーク (青の会、市民の声、シリウス、 大河の会、日本共産党)							平政・公明党					希望							
			安井英章	小林秀彦	菊地時子	大高翔	島貞一郎	落合康友	安岡明雄	藤田克美	渡辺優子	渡邊正人	針金勝彦	原田悦子	落合範良	庄司弘八	後藤健	菅原隆文	佐藤智一	伊藤洋文	武田正廣	安井和則
95	平成29年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
98	能代市職員の給与に関する条例及び能代市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
99	能代市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
100	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
101	能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
102	能代市行政財産使用料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
103	秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
104	能代山本広域市町村圏組合規約の一部変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
105	能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸与条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
106	能代市立図書館条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
107	能代市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108	平成30年度能代市一般会計補正予算	可決	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
109	平成30年度能代市簡易水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
110	平成30年度能代市浄化槽整備事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
111	平成30年度能代市介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
112	平成30年度能代市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
113	平成30年度能代市下水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議8	安全・安心の医療・介護の実現と医師などの夜勤改善と大幅増員を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議9	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議10	75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議11	介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を求める意見書提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳8	本市に所在する各種文化財の保全等について ※注	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳9	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳10	介護労働者の労働環境及び処遇の改善を求める意見書提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳11	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳12	75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳13	介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳14	グラウンドゴルフ専用コースの整備について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳15	消費税増税中止を求める意見書提出について	不採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※注 陳8は、継続審査に対する賛否の態度です。

※ 9月定例会で継続審査としていた「陳5 グラウンドゴルフ専用コースの整備について」は提出者より取り下げられました。

#### 意見書の提出

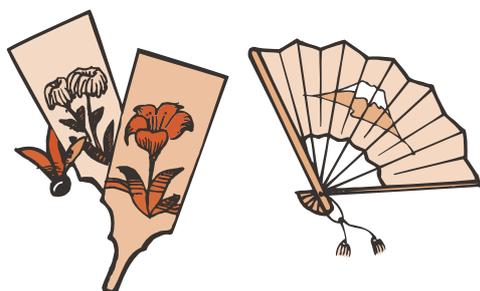
今定例会では、4件の意見書を可決し、関係行政等へ提出しました。

◆安全・安心の医療・介護の実現と医師などの夜勤改善と大幅増員を求める意見書

◆看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める意見書

◆75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを求める意見書

◆介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を求める意見書



大高 翔 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

崇徳小閉校後の複合型施設整備の考えは

質 地域住民や諸団体から多数意見のあった木育を中心とした複合型施設。具体的には、鳥海山木のおもちゃ美術館のような施設を整備する考えは。

答 木のおもちゃ美術館のような施設を望む意見も寄せられているが、今後、そういった施設が必要かどうか調査・検討していく中で、施設の規模や必要な機能のほか、施設の改修や管理運営に要する費用利便性等を考慮し、崇徳小学校を活用して整備すべきかどうかも含め、判断していくことになると考えている。

特定空家対策について、県との連携は

質 空家法ではなく建築基準法の視点で考えると、建築主事及び特定行政庁は県である。勧告や最小限の措置は当市の条例に基づき行い、従わない場合は県へ是正命令発出要請をする等、連携が必要では。

答 本市の空き家対策は、能代市空家等対策計画に基づき、国や県、警察、消防、自治会、民間事業者等と連携し取り組んでいる。住民に最も身近な市町村がその対策を講ずることが重要であり、本市の空き家等については、空家等対策の推進に関する特別措置法や能代市空家等の適切な管理に関する条例に基づき、本市で対応していきたい。

その他の質問事項

- 公共施設への木育体験空間整備の考えは
- ウッドスタート宣言を行う考えは
- 御代がわりに際し公共施設無料開放を

後藤 健 平政・公明党

人口減少、少子化対策を推進する考えは

質 人口減少、少子化に対する取り組みは、あらゆる角度からさまざまな施策を総合的に講じていくことで、効果が出ると考える。地域全体で支える機運を高めるような、厚みのある政策を推進する考えは。

答 当初予算編成方針では、人口減少対策のため、次世代への包括的な支援、持続可能な地域づくりに資する取り組みを重点とした。自然減対策では、結婚、出産、子育てを地域全体で支える機運醸成につながる経済的支援を検討している。社会減対策では、良質な雇用創出と若者の定着化につながる取り組みを進めたい。準備が整えば予算に反映したい。

洋上風力拠点化による地域活性化の方策は

質 ブレーマーハーフエンは、洋上風力発電の拠点化により、産業が振興し、人口増加に転じた。市は洋上風力発電拠点化を地域活性化につなげるためにどのような方策を考えているのか。

答 能代港での洋上風力発電の拠点化が実現、機能が充実することで、効率的に北陸から北海道までの範囲における洋上風力発電事業を促進でき、周辺での関連企業の産業集積、雇用創出に加え、地元企業のビジネスチャンスの拡大にもつながる。要望活動、企業訪問活動、広報活動等のさまざまな取り組みを推進して将来の地域の活性化につなげたい。

その他の質問事項

- 洋上風力発電拠点化期成同盟会の状況は
- ODMOの設立目的及び役割、事業内容は

佐藤 智一 希望

南地区における公共交通空白地の解消を

質 旧市内、向能代地区、東部地区、二ツ井地域においては巡回バスやデマンドタクシー等が運行している。南地区では旧国道7号のバス1路線のみであり、高齢者が買い物や通院で不便を来しているが。

答 市内には公共交通空白地域が点在しており、それぞれの地域の現状や市民ニーズを把握し、効率的で効果が高い手法を検討する必要がある。公共交通の充実に関する要望は、各地域から寄せられており、市としては、今年度実施したアンケート結果や能代市地域公共交通活性化協議会の御意見を踏まえ、持続可能な公共交通網の構築に取り組んでいきたい。

キャッシュレス決済の普及について

質 政府は10月からの消費税増税に伴い、キャッシュレス決済の場合、5%を還元するなど導入を後押ししている。公共施設等の使用料や市税等公金の納付においてキャッシュレス決済を導入する考えは。

答 キャッシュレス決済の導入は、システム等の初期費用や利用料がかかるなどの課題はあるが、納付方法の選択肢が広がるといった市民サービスの向上が期待できること、国においてもキャッシュレス決済を推進していることから、今後、先進事例の効果を検証しながら、導入に向けて検討していきたい。

その他の質問事項

- 放射性廃棄物処分説明会当市開催への認識
- 相続人不明な独居者の葬儀や遺品整理は
- 西高跡地の県教育委員会との協議状況は

菊地 時子

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

市営住宅トイレの洋式化の取り組みは

質 住宅の住民から、高齢なので腰、膝を曲げるこ  
とが困難、トイレを洋式にできないか、この声があ  
る。国や自治体の計画の中でトイレは高齢者等への  
対応をするよう示されている。トイレの洋式化を。

答 今後行われる市営住宅の建設では、洋式トイレ  
の設置が一般的だと考えているが、既存の住宅全て  
のトイレを洋式に改修することは期間と費用等の問  
題から考えていない。身体的障がいのある入居者で  
低層階や他住宅への住みかえを希望する人について  
は、可能な範囲で対応している。まずは担当課まで  
相談いただきたい。

軽度生活援助事業のサービス待ち

質 サービス利用券を持っている方が草むしりをシ  
ルバー人材センターへお願いしたところ、対応でき  
るまで時間がかかると言われた。サービス待ちにな  
らないための対策について考えているか。

答 30年7月に委託先である能代市シルバー人材セ  
ンターから、草取り、草刈り等の作業については、  
作業員の確保が難しいことから、今後の受注への速  
やかな対応が困難である旨の連絡があった。これを  
受けて、現在、新たな委託先等を検討しており、で  
きるだけ早期に決定し、利用者への周知等に努めら  
れたい。

その他の質問事項

- 能代市地域公共交通網形成計画
- 市営万町住宅建替事業
- 学校体育館へのエアコン設置

落合 範良

平政・公明党

老朽空き家に対し除去費を補助できないか

質 市内でも老朽空き家が多く見られるような気が  
する。安全・安心と地域の良質な環境を守るため、  
厳しい財政状況ではあるが、できる範囲で除去費の  
補助はできないか。

答 空き家等は私有財産であり、所有者の責任にお  
いて適切な管理に努めることが基本である。除去費  
への補助については、適正に管理している所有者と  
の公平性等の課題がある。しかし、空き家は年々増  
加すると見込まれることから、今後、能代市空家等  
対策計画の施策を進める中で、除去費の補助制度の  
導入についても検討していきたい。

空き校舎となる崇徳小学校の利活用

質 地域の意見を募った段階と思う。第2次総合計  
画では生涯学習・文化として地域に所在する文化財  
の保存と活用に努め、展示施設は既存施設の活用を  
基本に検討とある。今後このように進めていくのか。

答 地域に所在する文化財の実態や埋蔵文化財の各  
種調査を実施し、保存・展示に必要なスペースや設備  
等を把握しながら、崇徳小学校の利活用の可能性も  
含め、文化財や歴史資料の保存のあり方について検  
討していきたい。閉校後も校舎の維持管理に経費が  
かかるほか、老朽化が進むこと等から、できるだけ早  
い時期に方向性を定め、利活用につなげていきたい。

その他の質問事項

- 平成31年度当初予算編成
- 子ども議会を開催する考えは

菅原 隆文

希望

地元秋田杉未利用材、能代港から輸出の推移

質 2年前から始まった、能代港から中国向けの、  
地元秋田杉小径木未利用材の輸出。年間3万トン  
を超え、中国からは倍の要請もある。ストックヤード  
の確保や搬出作業道4メートル幅整備等で支援を。

答 4万トン岸壁の埠頭用地は、原木の野積み場と  
して使用可能であり、必要に応じて事業者が埠頭用  
地の使用について県に申請することになる。4メー  
トル幅は林道での整備となるが、3・5メートル幅  
の林業専用道に比べ工事単価が高く、開設まで相当  
の期間を要することから、実施主体の県では、林業  
専用道を中心に整備していくとのことである。

住宅リフォーム支援、店舗に適用拡大を

質 22年から始めた市の住宅リフォーム支援事業。  
能代市中心市街地の店舗等にはさまざまな補助事業  
がある。中心市街地以外の店舗や事業所で、この支  
援事業でリフォームできるように、適用拡大を。

答 商業店舗等の改装を補助対象とすることは、営  
利活動への支援となり、事業者の設備投資に助成す  
ることとなるため、適用の是非を含め研究してい  
きたい。また、新規分野参入支援事業費補助金制度で  
は店舗改修費も補助対象経費としているほか、能代  
市中小企業融資あつせん制度でも改修等の設備資金  
を対象としているため、活用していただきたい。

その他の質問事項

- 指定管理者制度の成果と課題の検証
- 旧二ツ井小跡地へ土床体育館の建設を
- 能代港に「ジョン」へ杉丸太輸出の明記を

**安井 英章** 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

**子育て基金の創設を**

**質** 地方自治体の基金の増加について国の会議で指摘されている。親の負担を少なくし安心して育てられる環境を整備するため、財政調整基金の一部を「子育て基金」として創設できないか。

**答** 子どもを生育しやすい環境づくりは第2次能代市総合計画において重要課題と位置づけているほか、総合戦略においても中核をなす施策であることから、基金の有無にかかわらず拡充していくべき施策と考えている。基金の創設は、今後、施策を展開していく中で、その設置が施策展開に有効であると判断した段階で検討していく。

**フリーゲージトレインの誘致を**

**質** 能代市から東京方面へは主に秋田駅で新幹線に乗りかえなければならず、乗客にとって大きな負担である。フリーゲージトレインは車輪幅をかえて線路幅の違う鉄道線路を走行する。誘致できないか。

**答** フリーゲージトレインの技術が確立されていない現段階においては、誘致できる状況にないと考えているが、利便性の向上等には必要なものと認識しており、今後も国の動向等を注視するとともに、現在秋田県全体で進めている奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けた活動についても取り組んでいきたい。

**その他の質問事項**

- 県立天文台の誘致を
- 水素社会へ向け、能代市のロードマップを
- 外国人労働者などの人材確保は

**原田 悦子** 平政・公明党

**小・中学校のエアコン設置計画作成を**

**質** 9月議会では、今後の国の動きを注視する旨の答弁であったが、今回の国の動向・財政支援はどのようなものであったか。また、普通教室、特別教室等、エアコン設置計画を作成する考えは。

**答** 今回の臨時特例交付金は、今年度補正予算限りと思われること、普通教室への設置を最優先すること等について連絡があった。その後の市の財政負担を考慮し、また、申請期間が10日と短かったことから、今回の申請は見送った。しかしエアコンは、児童生徒等の健康を守るために必要であり、今後、整備手法等も含めた設置計画を作成したい。

**古布類回収を年2回実施すべきでは**

**質** 市が秋に実施している古布類回収は市民の好評を得ている。リサイクル業者や運搬業者など関連する業界の都合もあると思うが、回収を年1回から2回にふやしてはどうか。

**答** 古布類回収は、実施日等の問い合わせが多いことや、多くの市民が搬入に訪れるなど、ニーズが高いものと考えている。こうした中、古布類回収を実施する自治体がふえていることから、回収できる業者の確保が難しくなっている。しかし、廃棄物の減量の観点や、市民のニーズ等を踏まえ、年2回の実施を目指し、回収業者と協議していく。

**その他の質問事項**

- 当市における外国人材の活用状況
- 重すぎるランドセルへの取り組み
- ネギ団地の石に対する県の対応は

**落合 康友** 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

**能代の縄文遺跡等を広域観光資源に**

**質** 能代を含む北海道・北東北は、平安時代ころまで続縄文時代が続いた日本最後の縄文文化圏であり、国史跡杉沢台遺跡は特に貴重な研究材料である。広域観光資源として能代の縄文遺跡等を活用する考えは。

**答** 鹿角市の大湯環状列石や北秋田市の伊勢堂岱遺跡は、遺構を見学する環境が整っている。これに対し、杉沢台遺跡は、発掘調査後、遺跡を保存し後世へ残すために埋め戻していることから、遺構の見学ができず、観光資源としての活用は難しいとされている。

**公共施設へ無線LANを設置拡充すべき**

**質** 市民からの要望を受け、公民館等の文化施設に無線LANを設置すべきと所管委員会にて再三提案してきたが、改善が見られない。現代はネット社会で、無線LAN設置は最低限のインフラ整備では。

**答** 市役所新庁舎における今年度の無線LANの月平均利用者は115人となっている。また、市が実施した公共施設利用者アンケート調査、自主学习グループ対象のアンケート調査でも整備要望は低く、市の事業の優先度と費用対効果を勘案すると、すぐに整備することは困難である。今後も需要の把握を続け、必要性が高まったときには整備を検討する。

**その他の質問事項**

- 持続可能な開発目標SDGs
- 核のごみ最終処分場の説明会
- 来年度予算編成の方針

小林 秀彦

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

ことしの米の収量減少へ営農支援を

質 今年産の米の作況指数は96の「やや不良」となった。農家からは、近年にないほど収量が少ない、との声が出ている。市としても農家が営農を継続できるように対応策を検討すべきではないか。

答 22年の異常気象の際、作況指数が県北で94の「不良」、米価も下落したことから、県では営農維持緊急支援資金を創設し、これに市、JAが利子補給することにより実質無利子融資とした。ことしは作況指数が96であり、また米価も一定水準にあることから、現在のところ営農支援は考えていないが、今後、県の動向や農家の状況を注視していく。

福祉灯油の実施を

質 石油価格が高い状況が続いている。これから年末、1月、2月の灯油最需要期を迎え、高どまりが続くと予想される。特に低所得者等の暮らしに大きな影響を与える。そのためにも福祉灯油の実施を。

答 市消費生活相談所の調査によると、市内の灯油宅配1リットル当たりの小売価格は、10月に100円80銭と最も高くなつたが、その後値下がりになっている。本市では、これまでも冬期間に1000円を超えること見込まれる場合に、実施を検討することとしていることから、今後の灯油価格や国、県の動向を注視しながら、判断していきたい。

その他の質問事項

- 消費税増税による市民への影響
- 洋上風力発電事業

安岡 明雄

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

老人クラブの活動環境への後押し

質 老人クラブの構成員は、自治会などで主力として活躍している反面、クラブ数、会員数は減少している。活動環境を支援することで、活動人口の増加と健康寿命の延伸につながる。どう後押しするか。

答 これまで各クラブに対する補助金等の支援のほか、能代市老人クラブ連合会へ高齢者の生きがいと健康づくり事業を委託し、スポーツ大会の開催やカラオケ教室等、趣味活動の場を提供してきた。近年はその参加者もふえ、新たな単位老人クラブも組織されている。引き続きこれらの取り組みを実施し、連合会等と連携を図りながら、活動を支援したい。

小規模多機能自治に取り組むこと

質 地域のことは、地域の人が一番よく知っている。さまざまな地域課題を、住民みずから解決しようとするのが、小規模多機能自治。市の人口減少、高齢化が進む状況を見ると、検討するべきではないか。

答 本市において、類似する取り組みとしてまちづくり協議会が組織されており、その取り組みをさらに広げていくことで、地域づくり活動等を行う活動人口の増加にもつながると考えている。今後も状況に応じ、まちづくり協議会設立に向けた説明会開催等の支援に努めていくほか、小規模多機能自治のあり方について、情報収集、調査・研究を進めていきたい。

その他の質問事項

- 事業効果の検証と新年度予算編成
- 北高跡地の活用方針を示す時期では
- 高レベル放射性廃棄物最終処分場の考え

島 貞一郎

改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

(仮)八峰能代沖の秋田弁護士会の意見書

質 (仮称)八峰能代沖洋上風力発電事業環境影響評価に對する秋田弁護士会提出の意見書について、適切に調査、予測、評価すべきであるとの意見に對する市の考えは。

答 事業者は複合的・累積的な環境影響評価について、騒音等に関し、周辺の既設及び計画中の入手可能な事業諸元に基つき予測評価を行うとしている。市としては県へ送付した意見書で、複合影響について可能な限り最新の知見により確認するよう述べている。事業者はみずから示した見解を踏まえ、今後、各項目を適切に調査、予測及び評価していただきたい。

市民生活に資するエネルギーのまちは

質 FIT(固定価格買取制度)で太陽光や風力発電が急速に普及したものの、北海道胆振東部地震の大停電等により大きな曲がり角にきていると思うが、エネルギーのまちをどのように考えるのか。

答 エネルギー情勢は刻一刻と変化し、それに対応するために国の制度等も見直されている。市民、地元企業が大きな恩恵を享受するためには、こうした現状を的確に捉え、対応することが重要と考える。引き続き情報収集に努めながら、未来の活力の向上や安全・安心のまちづくりに取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 沿岸から遠洋への転換は
- (仮称)能代港洋上風力発電事業
- 水素エネルギーに関する市の見解

# 各委員会での主な審査概要

## 総務企画委員会

**質** 職員の給料月額、勤務手当の支給割合等を改正する根拠としている。県人事委員会の勧告内容は、

**答** 給与において349円、0.09%の公民格差がある。若年層に重点を置いて給料水準を引き上げ、期末勤勉手当も0.10月分引き上げて格差の解消を図ろうとするもの。

**質** 能代市の公民格差を把握しているか。

**答** 独自の調査はしていないが、県の調査は能代市内の民間事業所も対象である。よってこれまで同様、県人事委員会の勧告に準拠した改定を行う。

**質** ニツ井地域の行政財産の使用料額を、市内統一とするための算出方法の変更により、使用料はどの程度の増額になるのか。

**答** 施設の築年数によるが、使用料は1.5倍から11倍程度の上昇が見込まれ、経過措置終了後の2022年度は、42万6000円程度の増額見込みとなる。

**質** 使用料増額は使用者にとって大きな負担になると思うが、相談に応じる体制はできているのか。

**答** 事前に面談し状況を聞いていますが、今後も使用面積の見直しや調整等相談に応じる。

**質** 能代山本広域市町村圏組合が新たに整備する粗大ごみ処理施設の概要は、

**答** 北部粗大ごみ処理工場の老朽化南部清掃工場の耐用年数の関係で、新たに施設の整備を検討。処理能力は1日当たり可燃ごみ90トン、不燃ごみ等5トン程度を想定。実施設計や建設工事は、2022年度から2024年度までの予定で、能代山本広域市町村圏組合で準備を進めている。

**質** 補正予算の歳入で、市民税と固定資産税を増額する要因は、

**答** 個人市民税については、主に米の概算金やネギの販売額の増加による農業所得の増加と、雇用環境の改善による給与所得の増加が要因と考える。法人市民税については、建設業、製造業等の業績が好調であること。固定資産税については、能代火力発電所の関連設備、業績が好調な事業所の設備投資、設備リース等の償却資産の増加が要因とみている。

**質** 旧公営企業庁舎等の解体工事に伴うアスベスト調査委託料の概要と跡地の利用方法は、

**答** 解体に当たり、建設年度によりアスベストの調査を行った上で、影響が出ない手法での工事が必要となったため、調査費用を追加するもの。跡地は当面、サンピノの臨時駐車場としての活用を考えている。

(菅原隆文)

## 文教民生委員会

**質** 能代市ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸与条例の一部改正の内容は、

**答** これまでの月額奨学金にかわり入学一時金の貸与となる。8、9月に募集を行い、10月には内定通知を出す。一時金の支給は来年度以降も4月を予定している。

**質** 4月前にかかる費用もあるので、入学予定者が一旦工面しなくてもいいように支給できないか。

**答** 3月に支給した入学予定者が入学しなかった場合、すぐに全額を返してもらうことになる。また、4月に入ってから授業料など、出費がかさむことから4月に支給することとしたが、今回の状況を見ながら、よりよい制度となるよう考えたい。

**質** 奨学金制度の運用の見直しは、

**答** 本制度は火力協力を活用した制度である。これまでの実績を見ると、約3割が能代に定住しており、今後も同様の状況が続くと想定した場合、8年間は運用できると考えている。

**質** 能代市ニツ井図書館の運営体制は、

**答** 平成31年度末までは直営での運営を考えている。それ以降は、利用状況やニツ井町庁舎の管理状況、能代図書館の運営状況を勘案しながら、両館の運営形態のあり方について検討したい。休館日は、毎週火曜日のほか、土日を除く月末、年末年始、

蔵書の点検期間とする。

**質** 蔵書の予定は、

**答** ニツ井公民館図書室から約5000冊を移し、新規に約4000冊を購入するほか、能代市立図書館から約1500冊の特別貸し出しを受け、合計で約1万冊を予定している。

**質** 本の相互返却は可能か。

**答** ニツ井で借りた本を能代に返すこともでき、その逆も可能となる。

**質** 保育所等事故防止推進事業費補助金により整備される備品等の使用目的は、

**答** 睡眠時の事故防止のため、保育士等が5分ごとにチェックを行っている。記録するよう県から指導されている。保育士等による確認が基本であるが、それを補完するために整備するもの。

**質** 風しん予防接種費補助金の対象者の範囲を絞りすぎているのではないか。

**答** 対象者は妊娠を希望する女性及びそのパートナー等である。この補助金は、妊婦への感染を防ぐことを目的とした制度である。現在、国では、過去に予防接種を受ける機会がなかった世代の男性を対象に、無料でのワクチン接種を検討しているが、詳細が示されていないことから、国の動向を注視しながら適切に対応したい。

(落合康友)

## 産業建設委員会

**質** 就業資格取得支援事業補助金の補助対象となる資格は。

**答** 大型自動車・大型特殊免許、フォークリフト運転技能講習、電気工事士を初め、要綱に規定する国家資格や国家検定は166種ある。

**質** 仁耐水沢スギ植物群落保護林の遊歩道改良工事費の減額理由は。

**答** 今年度において測量設計業務委託と遊歩道改良工事を実施する予定であったが、工事の入札に対して応札がなく、入札中止となった。補助金の交付者である県より、工事の実施を来年度に変更するよう指導があり、今年度の工事分の事業費を精算するものである。

**質** 応札者がいなかった理由は。

**答** 同時期に他の公共事業も多く、人手不足となったことや、工期が短かったことなどが考えられる。来年度は工期を長く設定することとしており、応札があること見込んでいる。

**質** 産地パワーアップ事業費補助金の概要は。

**答** 轟地区のネギの圃場において混入している石への対策として、石を砕く装置、トラクター等のリース導入に対し、国が50%補助するものである。

**質** 初めからネギ作付けの圃場として、栽培に支障ない深さまで石を除去する等の整備はできないのか。

**答** 基本的には水田としての整備で

あるため、表土の厚さに国の基準があり、深く掘った際に石が出てくることがある。

**質** 今回機械を導入するが、事業費の半分以上が農家の負担となるため、圃場整備の事業主体である県へ改善を要望できないか。

**答** 農家が安心して営農できるように畑作の表土の厚さを確保し完成検査時に石の混入がないことを確認する等、農家とよく話し合い、整備を進めるよう県へ要請していきたい。

**質** 大館能代空港利用促進助成金の利用状況は。

**答** 今年度、助成内容を拡充したこともあり、11月現在、5006名、1497万円の助成で、前年同期比で約1.2倍の伸びとなっている。

**質** 助成金の事業効果は。

**答** 搭乗率は伸びており、引き続き本事業で地元利用を促し、あわせて観光周遊ルート構築の検討等を行うことにより、現在要望している羽田便の増便や、休止路線の再開につなげていきたい。

(落合範良)



産業建設委員会の様子

## 議会基本条例策定 特別委員会

11月19日開催の委員会では、会派希望がこれまでの検討結果を踏まえ、改めて作成した基本条例の素案をたたき台とし、条文について検討を行った。

「議員の活動原則」について

**意見** 「一部団体及び地域の代表にとどまらず」ということが大切で、文言を追加すべき。

「市長等と議会の関係」について

**意見** 議会は執行権を持たず、市長等と対等な立場ではないため、「対等」の文言を削除すべき。

「議長及び副議長選出」について

**意見** 「それぞれの職を志願する者に対し所信を表明する機会を設け」の文言を削除すべき。

**意見** 削除せずそのまま残すべき。

「議員間の自由討議」について

**意見** 委員会以外の場でも可能性があることから「委員会において」の文言を削除すべき。

「報告会および広報の充実」について

**意見** 現在の報告会は意見を交換する場ではなく聴く場であるため、文言を変更すべき。

**協議結果** 各意見を踏まえ、再度各会派で検討を行い、次回委員会において調整を行うこととした。

12月定例会では引き続き条文について事前に事務局から提出された意見も参考に、1条ずつ検討を行った。

「議会の運営原則」について

**意見** 「情報公開を拡充し」の文言を「議会が有する情報の積極的な提供に努め」に変更すべき。

「議員の活動原則」について

**意見** 議会活動及び議会活動に資する行事等への参加は、議員に課せられた義務であり、公人としての立場を選んだ以上、これら活動を優先する旨の一文を追加すべき。

**意見** 議会活動に資する行事等に該当するかどうかの線引きは非常に難しいため、条例に位置づけるのは困難ではないか。

「議員間の自由討議」について

**意見** 詳細については今後別の協議の場で検討すべき。

「会議等の公開」について

**意見** 「本会議及び委員会を原則公開する」の文言を、全ての会議を公開する旨に変更すべき。

「議会費の要望」について

**意見** 「必要な予算の確保に努めなければならない」の文言のうち「確保」を「要望」に、「努めなければならない」を「努める」に変更すべき。

「協議結果

「議会費の要望」について、意見のとおり変更すること、「目的」について、理解しやすい表現となるよう文章の一部を整理すること、本条例に「章」を設けること、条の見出しの一部を変更することを決定し、このほかの条文についても、引き続き検討を要することを決定した。

(佐藤智一)

# 各常任委員会行政視察報告

## 総務企画委員会

視察日 10月9日～11日  
 視察市 大阪府豊中市、和歌山県海南市  
 視察項目

- ・ 豊中市  
 ・ 施設再編方針に基づく施設再編  
 ・ 行財政改革の推進
- ・ 海南市  
 ・ 津波・地震対策（防災施策と災害時の対策、危機管理に対応する市の担当部局と体制、他自治体や民間企業との支援協定）  
 ・ 自主防災組織の組織化、市のかかわり、支援

### 施設再編方針に基づく施設再編

施設再編方針は、公共施設等総合管理計画のもとで施設再編を検討するに当たり、施設種別ごとに公共施設マネジメントの基本方針を具現化するための課題と方針を検討し整理するもの。豊中市では平成29～52年度までの24年間で、建物施設とインフラ施設について「豊中市公共施設等総合管理計画」として計画した。

さらに、再建に向けた課題と方針として、総合管理計画に掲げる公共施設のマネジメント基本方針を、「施設総量フレームの設定、戦略的配置、複合化・多機能化の推進」「維持管理経費の削減」「公民連携の推進」「施設利用の推進」の3項目に分類整理している。

## 行財政改革の推進

豊中らしいまちづくりを支える人、組織、財政などの行財政運営基盤の充実・強化を図るため、その取り組みの考え方と目標を示す「中期行財政運営指針」を28年7月に策定した。この方針に基づき、未来を見据えて絶えずチャレンジと変革を追求し、新たな創造により多様なニーズに応える「未来志向型の改革」を進めている。

### 津波・地震対策 自主防災組織の組織化、市のかかわり、支援

能代市と比べて人口が同等で面積が4分の1の和歌浦湾に面する海南市。南海トラフ巨大地震対策も含め、東日本大震災や紀伊半島大水害を受けこれまでの地域防災計画の問題点を踏まえて「災害に対する実効性の高い地域防災計画」として25、26年度に改定されている。また、「海南市津波避難計画」も策定しており、特に沿岸部の地域には住民一人ひとりが円滑に津波から避難ができるよう「地区津波避難計画」を作成することを願っている。

現在98団体と支援協定を結んでいる。自主防災組織の結成率は89・1%、設立に当たっての自主防災組織育成事業補助金がある。31年度は、宝くじ事業のコミニティ助成事業としても実施する予定となっている。

(菅原隆文)



## 文教民生委員会

視察日 10月10日～12日  
 視察市 千葉県木更津市、埼玉県東松山市  
 視察項目

- ・ 木更津市  
 ・ まなび支援センターの事業  
 ・ 健康増進センター（いきいき館）
- ・ 東松山市  
 ・ 子育て世代包括支援センター  
 ・ きらめき市民大学

### まなび支援センターの事業

幼児言語センター、教育センター、青少年指導センター、それぞれ3つの機能を1つに集約して開設された「木更津市まなび支援センター」。幼児期から青少年に至るまでの教育相談活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子供たちの健やかな成長と教職員の指導力向上を支援している。学校支援における算数・数学検定が特色である。小学3年生から中学3年生を対象に、受験料無料で年2回実施、年間約6000人が受験している。

### 健康増進センター（いきいき館）

木更津市クリーンセンター（ごみ処理施設）の余熱を有効利用したスポーツ施設を改修し、健康増進のための施設として、スポーツ関連企業が指定管理者となり運営している。

生活習慣病予防に重点をおいた健康づくりの場を提供する。主な施設は屋内温水プールとトレーニングジム。無料送迎バスの実施や自前マシンの導入など、指定管理者による自主的な投資が実を結んで、利用者は飛躍的に増加した。

### 子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期において、市民のさまざまなニーズに対してワンストップの相談支援を提供し、安心して子育てができるよう切れ目のない支援を実施する。

助産師、コンシエルジュ、保健師が担当職員として配備されている。妊娠届の機会を通して全妊婦と面接し、アンケートによって家族、健康、経済面等の事情やニーズを把握する。また、妊娠期から切れ目のない支援として、全妊婦に対して両親学級（年30回開催）への参加勧奨をする。

30年10月に能代市でも、子育て世代包括支援センターを開設したため、先進事例として参考になった。

### きらめき市民大学

青年の家としてオープンした建物を利用し、高齢者の増加と市民の生涯学習意欲の高まりを受けて、きらめき市民大学を開校した。

在校生の平均年齢は68歳で、講師には大学教授や専門家、市民講師があり、学生自治活動として学園祭や修学旅行なども行っている。在学期間2年間で受講料は2万円。

授業は各学年週1日実施している。生涯学習がより深化され、世代間や地域間を超えたコミュニケーションづくりにも寄与している。

(落合康友)



## 産業建設委員会

視察日 10月22日～24日

視察市 兵庫県洲本市、赤穂市  
視察項目

- 洲本市
  - ・エネルギーパーク洲本
  - ・北前船関連資源
- 赤穂市
  - ・水道事業
  - ・赤穂観光アクションプログラム

### エネルギーパーク洲本

エネルギーパーク洲本は、循環型社会を目指す取り組み「菜の花・ひまわりエコプロジェクト」の再生可能エネルギー関連施設が見学できるように整備されている。「あわじ環境未来島構想」では2050年までに電力・食料の自給率100%を掲げ、「持続する環境の島」淡路島の実現を目指している。

また洲本市は、京都の龍谷大学と連携協定を締結し、「地域再生可能エネルギー活用推進条例」を制定。多くの再生エネ施設が、その整備に当たり中央企業からの出資を受ける結果、地元への恩恵が少ない状況を受け、龍谷大学では、地元金融機関から資金を調達し、非営利株式会社を設立、再生エネ施設の事業主体となっている。電気の売り上げから必要経費を除いた利益は全て地域に還元している。

### 北前船関連資源

高田屋顕彰館・歴史文化資料館を視察。地元が生んだ江戸時代の豪商、高田屋嘉兵衛の偉業を顕彰し、後世に語り継ぐため平成7年に整備した歴

史文化資料館であるとの説明があった。館内には貴重な資料の陳列とともに嘉兵衛が最初に所有した北前船・辰悦丸の2分の1スケールの復元模型も展示されており、当時がしのべれた。展示物の航路図には我が能代港が載っていた。

### 水道事業

全国の中で一番安い水道料金と知り、興味を持って伺った視察先であった。料金は1カ月当たり853円であり、全国平均の約4分の1と安く、その理由を伺った。主水源である川の水量が豊富なことと、名水百選にも選ばれるほど良質なため薬剤の注入やメンテナンステナンスなどのコストが低い。また、企業などの大口使用者が収入全体の5割を占めていることも、安価に設定できる理由であると説明があった。

### 赤穂観光アクションプログラム

赤穂市では地方創生加速化交付金を活用し、プロモーションビデオを作成。赤穂といえば赤穂義士、四十七士であるが、制作ではあえてその思いを排除、外国人を初め多くの観光客へ赤穂の魅力を発信し、旅してみたいと思わせる映像となるよう配慮したとの説明があった。観光振興における課題としては、姫路城への外国人観光客が増加している中、赤穂まで引き込むための情報発信や受け入れ体制の整備が必要であると話していた。

(落合範良)



